

吉村さん 読売新聞賞

おまわりさん作文 低学年の部

受賞の喜びを語る吉村さん



第26回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」(読売新聞社など主催、警察庁など後援)で、光華小学校2年、吉村奈々さん(8)の「おまわりさん、ありがとう」が、低学年の部で読売新聞社賞に選ばれた。

小学校に入って電車通学するようになったが、不安に感じることがあり、母親と一緒に交番に行き話を聞いてもらった経験をつづった。翌日から警察官が毎朝、駅前で見守ってくれたため、安心して通学できるようになったという。

わたしは、小学校に入るまで、交はんの前をとるのがとてもわかつたです。それは、お母さんにおこられると、「交はんにつれて行くよ」といつも言われていたからです。交はんのちかくをとる時は、ドキドキしながら走っていました。

小学校に入学して、電車つう学することになりました。つう学の中でごわいことがいくつもあり、電車にのって学校に行くことができなくなりました。

お母さんが、おまわりさんにさうだんしてみたらと言ったので、二人で交はんに行き、話を聞いてもらいました。おまわりさんとふけいさんは、わたしの話を聞いてくれました。「わるい人からせうたいにまもるから、あんしんして学校に行ったら大じょうぶだ

よ」と言ってくれました。つぎの日から、おまわりさんとふけいさんは、朝早くからえきの前にたつて、見まもってくれました。雨の日も、見まもってくれました。おまわりさんふけいさんのおかげで、あんしんして学校に行くことができるようになりました。

今も道でおまわりさんやふけいさんとすれちがうと、ななちゃん、さいきんこわいことやこまつたことないか？学校は楽しいか？と聞いてくれます。

そんなおまわりさんやふけいさんのおかげで、わたしたちはあんしんしてくらしていけます。おまわりさんふけいさん、いつもいっもありがとう。これからもやさしい目で見まもっていてください。(一部を読売新聞の表記スタイルに換えました)

吉村さんに感謝状

西京署 おまわりさん作文入賞

西京署は26日、第26回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」(読売新聞社など主催、警察庁など後援)で読売新聞社賞に選ばれた光華小学校2年、吉村奈々さん(8)に感謝状を贈った。

この日は、同署の勢井慎吾署長が「警察官の励みになった」として吉村さんに感謝状を手渡した。松尾交番で相談を受けた元野芳二番部補と小川夏季巡查長も駆けつけて祝福。吉村さんは「自分も人助けができるようなお巡りさんになりたい」と喜んだ。

吉村さんは、小学校入学直後、電車通学で怖い目に遭ったことから、母親と同署松尾交番に相談。警察官が毎朝、駅前で見守り声掛けをすることで見守り



感謝状を受け取り、相談に乗った元野警部補(左)、小川巡查長(右)と一緒に喜ぶ吉村さん(西京区で)